

水稻の生育状況と当面の対策

基本技術を励行して消費者に「おいしいお米」を届けよう！

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>

第 1 報
千葉県農林水産部
平成29年5月23日

適切な茎数の確保に努めましょう スクミリンゴガイに注意しましょう

[生育概況]

育苗では、初期の低温があったものの、生育は平年並みに進みました。

移植後は、4月下旬の低温と強風の影響で、初期生育が抑えられ、葉齢の進みはやや遅い傾向となりました。草丈は平年並みでしたが、茎数は全体として少なめに推移し、特に早生では茎数不足が目立ちました。

表 1 品種別の生育状況（5月19日現在）

品種	植付時期	平年比※		
		葉令の進み	草丈	茎数
ふさおとめ	4月20日頃	やや遅	並	少
ふさこがね	4月20日頃	並	並	少
コシヒカリ	4月20日頃	並	並	やや少
	5月1日頃	やや遅	並	やや少
ふさのもち	4月20日頃	やや遅	並	やや少
	5月10日頃	移植直後のため、省略		

※平年比は過去10か年（2007～2016年）の平均値との比較。

ただし、ふさのもちは過去6か年（2011～2016年）の平均値との比較。

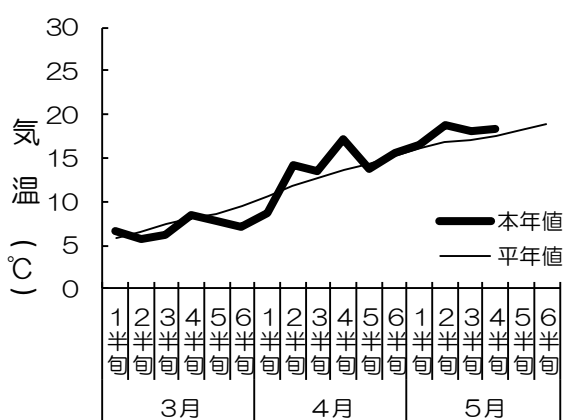


図 1 日平均気温の推移（アメダス、佐倉）

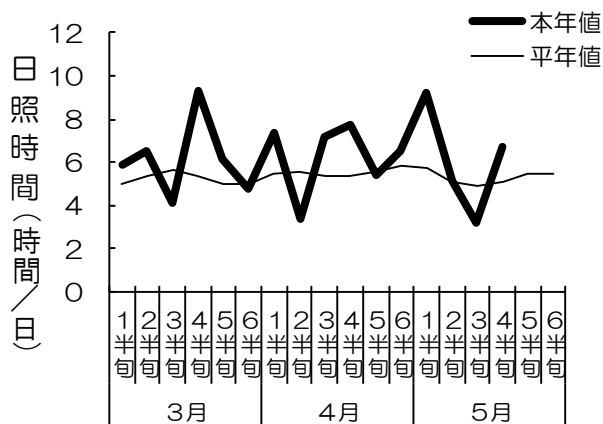


図 2 日照時間の推移（アメダス、佐倉）

[これからの管理のポイント]

■ ほ場ごとに茎数を確保し、中干しの適期実施

本年度は生育がやや遅れており、浅水管理で茎数を確保する必要があります。特に早生では、茎数の確保が品質、収量に大きく影響にしますので、重要です。

一方、今後好天が続く場合、茎数が急激に増加するので、中干しが遅れないように注意しましょう。

茎数過多は玄米品質低下の原因となるので、「表2」の中干し開始時期の目安を確認し、目標茎数に達し次第、中干しを開始して過剰分げつの発生を抑えましょう。

排水しにくいほ場では、中干し開始数日後に溝切りを行うと効果的です。中干しは強すぎないように、土が湿って足跡が残る程度とします。

表2 品種別の中干し開始時期の目安

品種	植付時期	中干し開始目標茎数		
		砂質	壤質	粘質
ふさおとめ	4月20日	480本/m ² (27本/株)	480本/m ² (27本/株)	440本/m ² (24本/株)
ふさこがね	4月20日	360本/m ² (20本/株)	360本/m ² (20本/株)	360本/m ² (20本/株)
コシヒカリ	4月20日	320本/m ² (18本/株)	310本/m ² (17本/株)	300本/m ² (16本/株)
	5月1日			

()内は60株/坪植えの時の1株当たり茎数の目安
極端な疎植の場合はこの目標茎数に達しないことがある

■ 害虫の適期防除

病害虫発生予報第2報（農林総合研究センター5月12日）によると、スクミリンゴガイの発生量が多い、ヒメトビウンカの発生量はやや多い予報となっています。

○スクミリンゴガイ

スクミリンゴガイは、定植直後の水稻苗を食害し、欠株を発生させます。欠株による減収、補植作業の増大の他、欠株の発生が多い場合は、定植が必要となることもあり、大きな被害をもたらします。防除対策については別紙を参照してください。

○ヒメトビウンカ

ヒメトビウンカは、イネ縞葉枯病を媒介します。イネ縞葉枯病に罹病すると、葉および葉鞘に黄白色の縞状の病斑を生じ、発病株は分げつ不良となり枯死します。発生の多い場合は、成虫飛来期の5月下旬から6月上旬に薬剤防除します。

■ 育苗を終えての整理

育苗を終えた育苗箱は、きれいに掃除し、必要に応じて薬剤消毒などしましょう。

次回の「水稻の生育状況と当面の対策」は、6月5日に発行予定です。

あなたの田んぼは大丈夫？

ジャンボタニシに注意！

(和名：スクミリンゴガイ)

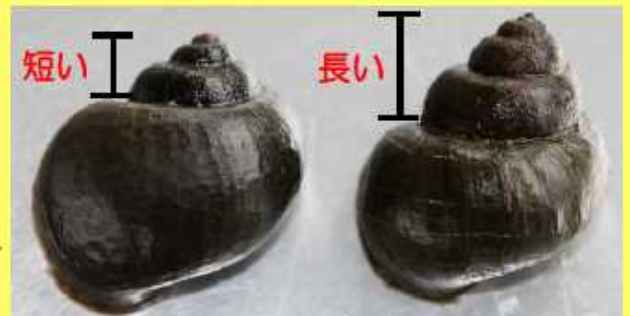
地域みんなで防除対策に取り組み、被害を防ぎましょう！

ジャンボタニシは、在来のマルタニシと比べて、殻のらせん上部の長さが短く、丸みを帯びており、成貝は5cm程度に成長します。

ひげを出すのも
在来タニシとの
相違点



生態と被害



ジャンボタニシ 在来のマルタニシ



ジャンボタニシは水田の土壤内や、水路等で越冬します。暖冬だと翌春は被害が発生しやすくなります。気温が上昇し、水田に水が張られると活動を開始し、取水によって水路からも水田に侵入します。水田内の水が深いところで活発に活動し、移植3週間後頃までの小さな苗を好んで食害します。苗がほとんど無くなる被害が発生する場合があります。

防除対策

耕種的防除や薬剤防除を組み合わせることで被害を軽減させましょう。

- ☑ 土壤中の越冬貝の防除（秋期の石灰窒素施用，冬期の耕うん）
- ☑ 水田，水路の貝防除（貝の捕殺や卵の払い落とし，水路の泥上げ）
- ☑ 水路からの侵入防止（取水口に目合5～10mmのネットや金網を設置）
- ☑ イネ移植後2～3週間の浅水管理（水深4cm以下）
- ☑ 水田での薬剤防除（スクミノン，スクミンベイト3，スクミハンター，キタジンP粒剤，パダン粒剤4等を散布） *農薬登録情報は平成28年10月現在

千葉県・（一社）千葉県植物防疫協会・千葉県農業共済組合連合会

まだ間に合います。飼料用米に取り組みましょう！

(申込×切は6月末日、申込先は市町村農政担当課まで)

生産量が需要を上回り在庫量が増えると、米価の下落を招きます。
米価安定のためには、飼料用米生産者の継続的な取組と、これまで飼料用米
に取り組んでいなかった方の新たな取組が必要です。

飼料用米をおすすめする理由

- ① 配合飼料工場や畜産農家など、大きな需要があります。
- ② 水はけの悪い湿田でも、作れます。
- ③ 既存の機械や施設を、そのまま使えます。
- ④ 国や県の支援策が受けられ、条件により主食用米と同等以上の収入が確保できます。
- ⑤ 主食用米の需給が改善し、米価回復が期待できます。

収入額の試算

エクセルでも試算できます→ <http://www.chiba-suiden.jp/> (千葉県農業再生協議会のホームページ)

				経営面積2ヘクタールで試算した例				試算してみましょう
				すべて 主食用米	飼料用米は 主食用品種 で標準収量 (一括管理方式)	飼料用米は 主食用品種で 60kg/10a増収 (区分管理方式)	飼料用米は 多収品種で 150kg/10a増収 (区分管理方式)	
主食用米 の収入額	栽培面積	(a)	①	200	120	120	120	
	販売価格	(円/60kg)	②	11,100	11,100	11,100	11,100	
	収量	(kg/10a)	③	535	535	535	535	
	販売収入	(円)	④=①×②×③÷600	1,979,500	1,187,700	1,187,700	1,187,700	
	米の直接支払交付金	(円)	⑤=(①-10)×7500÷10		82,500	82,500	82,500	
	計	(円)	⑥=④+⑤	1,979,500	1,270,200	1,270,200	1,270,200	
飼料用米 の収入額	栽培面積	(a)	⑦	0	80	80	80	
	販売価格	(円/kg)	⑧		10	10	10	
	収量	(kg/10a)	⑨		535	595	685	
	販売収入	(円)	⑩=⑦×⑧×⑨÷10		42,800	47,600	54,800	
	戦略作物助成	(円)	⑪=単価×⑦÷10		640,000	720,000	840,000	
	産地交付金	(円)	⑫=⑦×2800÷10		22,400	22,400	22,400	
	多収品種(産地交付金)	(円)	⑬=12000×⑦÷10				96,000	
	県助成	(円)	⑭=単価×⑦÷10		24,000	24,000	12,000	
	市町村助成	(円)	⑮					
計	(円)	⑯=⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮		729,200	814,000	1,025,200		
収入額の合計	(円)	⑰=⑥+⑯		1,979,500	1,999,400	2,084,200	2,295,400	

<試算条件>

- ・経営規模：2h a
- ・生産数量目標(面積換算)：1.2h a (水田面積の6割)
- ・主食用米販売価格②：11,100円/俵(28年産米の仮渡金(コシヒカリ1等)の事例)
地域や出荷先により販売価格は異なります。
- ・10a当たり収量③：535kg(29年産米の標準単収値(千葉県平均)・市町村ごとに異なります。)
- ・飼料用米販売価格⑧：600円/俵(28年産の事例) 地域や出荷先により販売価格は異なります。
- ・戦略作物助成の単価⑪は、収量に応じ55~105千円/10a(標準収量で80千円/10a)
- ・産地交付金⑫：2,800円程度/10a
- ・県助成⑭：主食用品種での取組3,000円/10a、多収品種での取組1,500円/10a
- ・市町村助成⑮：市町村により支援策の有無や内容、要件は異なります。

栽培面積、販売価格、
収量等を入れて計算
してみましょう